

家庭倫理講演会開催

中野だより
平成28年度
第9号
家庭倫理の会

特集版



「いのち」の輝きをテーマに、倫理研究所小林宜子講師に講演をして頂き、一八九名の来場者を迎えることができました。

四月二十四日(日)
平成二八年度中野区家庭倫理講演会
が中野サンプラザ
アネモルームにて
開催されました。

きらきらきら 中野通信

発行者
家庭倫理の会
中野区
会長：内倉あゆ子

「いのち」の輝きのお話は、胎児の話から始まり、子育てセミナー講師の産婦人科医師である池谷先生の話から2〜5歳くらいの子供は、胎内での記憶がありお母さんを喜ばしたいという生きる目的を生まれた時から潜在的に持っているそうです。

子供は授かりもの、預かりもので子供は、愛を与えないと自分との付き合い方が分からなくなりそして動けなくなり、不登校になったり、また暴力ふるったりするようになります。子供には、安心と信頼を与えてあげることが大切とのことです。

次に挨拶についての秘訣は、次のように示します。明るく、いつでも、どこでも、先自分から、続けて行うことが人との関係を良好に出来るなどご自身の家族との体験を話されました。続いている話は「人間の根を育てる」について、ブータンという国は国民総幸福度世界一だそうです。国民は、チベット仏教を信じており、「足るを知る」生活をしているそうです。物がなくても幸せだと感じる生活です。一方、日本人は無信教だと言われますが、縄文時代以来の祈る文化があります。



講演会後の小林宜子講師と
実行委員の皆さん

昔は各家庭に仏壇や神棚があり、親が祈っていました。しかし現代は、このような風習がなくなり、不安な状態になりやすい、またパニック状態になりやすい環境になっています。

こういう時代にこそ祈りによって心に挫けない根を育てることが大事というお話を、二つの例話をしていただきました。講師の話の途中で熊谷英夫さんの「我が子の死を乗り越えて」の実践報告は倫理研究所の生活倫理相談による実践を夫婦で取り組み親、祖先への感謝を忘れず夫婦共に仲よく子供の分まで長生きする事が、子供の願いになると発表され、来場者の涙を誘うなど感動を与え、今年のテーマ「いのち」の輝きに沿った実践報告を聞くことが出来たのではないのでしょうか。

「広報委員」山田

ホームページ：<http://nakano-rinri.jp>

家庭倫理の会 中野区 編集者：岡野八重子

総責任者 内倉あゆ子

今回の講演会は会員の皆さんが、足を運び、顔を合わせ、声を掛けて下さったお蔭で189名の方々にお越し頂けたと思います。本当にありがとうございました。テーマ「いのち」の輝き。自らの「いのち」を輝かせ、生き活きとした人生を送るにはどうするべきか。熊谷英夫さんの実践報告と小林宜子講師の講演を通して、真の幸福と揺るぎない家庭の絆を育むための心がけや実践をお伝え出来たのではないかと思います。皆様で作上げた平成28年度家庭倫理講演会の盛会に心より感謝申し上げます。

家庭倫理講演会を

終えて

実行委員長

舟久保しげ子

実行委員長の大役を拝受しましたが、実行委員会会員の皆さんに支えられて感動ある講演会を終えることが出来て心から感謝を致しております。

進行 タイム係
伊倉功
サンプラザの係りが的確に実施してくれました事に感謝です。

図書販売 熊谷紀子

講演会の重要図書は来場者の方々が、それぞれに購入していただきました。



受付 大串美佐子

皆様の御協力により、当日券の現金受付による受付も混乱する事なく入場して頂けました。

実践報告者/進行付

安藤忠子

ベテランの先輩による実践報告は感動的でした。又イベントのプロ経験者による進行は、明るく元気な声で完璧でした。



場内案内 石川淳子

笑顔で前から順にお誘い出来ました、開始時にはほとんどの方が着席しておられました。

場外案内 阿部信子

とびきりの笑顔でのお迎えがとても良かった。

当日会計 村田守

当日の入場者の入場料はスムーズに頂きました。

講師付き 送迎

桐山敬子

講師の臨機応変の心遣いが嬉しかったです。

場内案内 長井千枝子

それぞれの係りの方が元気よく、段取り良くやっていただきました

※広報からお詫び
前号に富士研修のお誘いをしましたが定員になりましたので申し込みは終了しました。

五月一日(日)家庭倫理講演会に関わったメンバーで、丸山敏雄先生のご墓所に講演会のお礼参りに伺いました。新緑がまぶしい好天の中、一人一輪ずつ菊の花を献花し、一八九名の入場者の方々に、感動を少しでもお届けできたことを、心よりお礼を申し上げます。

